

1.開催趣旨等

開催趣旨: 子どもを交通事故から守る事 別紙:企画書参照

理由 : ◇通学するようになると、大人の知らない地域社会へと行動範囲が広がり、事故に遭遇する危険が増すため。
◇日常安全に過ごすために交通ルールを確実に教える事は大人の義務であるため。
◇輸送業者として地域社会への交通安全活動を推進するため。

開催日時: 平成24年11月30日(金) 9:25~12:00(教室開催時間) スタッフ
場所 : 浄水小学校運動場 榊内山:11名
対象 : 2年生:183名

全体スケジュール

【1回目】

no	項目	時間
1	車両搬入	8:30~8:40
2	ライン引きとパイロン準備	8:40~9:05
3	各実験リハーサル	9:05~9:15
4	担当配置確認	9:15~9:20
5	待機	9:20~9:25
6	安全教室実施	9:25~10:30

【2回目】

5	待機	10:40~10:55
6	安全教室実施	10:55~12:00
7	片付け	12:00~12:05
8	車両搬出	12:05~12:10
9	最終終了確認	12:10~12:15

安全教室スケジュール

no	項目	時間	1回目	2回目
1	スタッフ、生徒整列	9:15~9:25		10:45
2	挨拶 (各関係者)	9:25~9:30		10:55
3	横断歩道の渡り方	~9:40		~11:10
4	飛び出し実験	~9:50		~11:20
5	巻込実験	~10:00		~11:30
6	死角実験	~10:20		~11:50
7	挨拶 (各関係者)	~10:30		~12:00

2.交通安全教室内容(1)

① 横断歩道の渡り方

ねらい: 横断歩道の正しい渡り方を知ってもらう。
内容: 「3本指のお約束」わたしは かならず とまります。「渡ります」の合図で右手を上げてわたること。

② 飛び出し実験

ねらい: 「車は急には止まれない事」を見てもらい「飛び出し事故の怖さ」を教える。
内容: 急ブレーキを踏んで止まるまでの距離と直前に飛び出したダンボールが飛ばされるのを見もらう。
認知: 飛び出しが危険である事を見て道路や車の前に飛び出さない事を知ってもらった。



歩行者信号を見て青で渡ることを、赤で止まって待つことを理解させる。
＜信号の色がわかるひと～＞
赤 絶対進んではダメ!
点滅するともうすぐ赤だ! 進んだらダメ!
青 右、左、右を良く見て安全なら進んでもいいよ!

・飛び出し実験・・・時速30kmで走行時の飛び出しがあった場合の制動実験とダンボールとの衝突実験。

※飛び出しをダンボールでイメージ

道路には絶対に飛び出さない。飛び出すと、どうなるかな??



・ひかれたらつぶれちゃう。
・トラックに当たったら死んじゃう。
・命をおとす。
子供達からたくさんの意見がでました。

約束
・道路には絶対に飛び出さないようにしましょう。
・信号が赤の時はとまり、青のときも右、左、もう一度右を良く見て車が来ないことを確かめてから渡りましょう。

2.交通安全教室内容(2)

③ 巻込実験

ねらい: トラックが左折した時の内輪差(タイヤ痕)がある事を教え、巻込事故の怖さをつかませる。
内容: 交差点付近の横断歩道をイメージし、車道直前に立つとトラックの巻込や接触がある事を見もらう。
認知: 車道直前に立つと危険であるところを見る事により目で見て道路から3歩ぐらい後ろで止まって待つことを教える



・巻込実験・・・横断歩道のある交差点を左折した時の内輪差実験。

※巻き込みをボールでイメージ

横断歩道のすぐそばで立っているときトラックが来たら、どうかな??

わかった人～



はあ～い

道路のすぐそばにいるとあぶない。

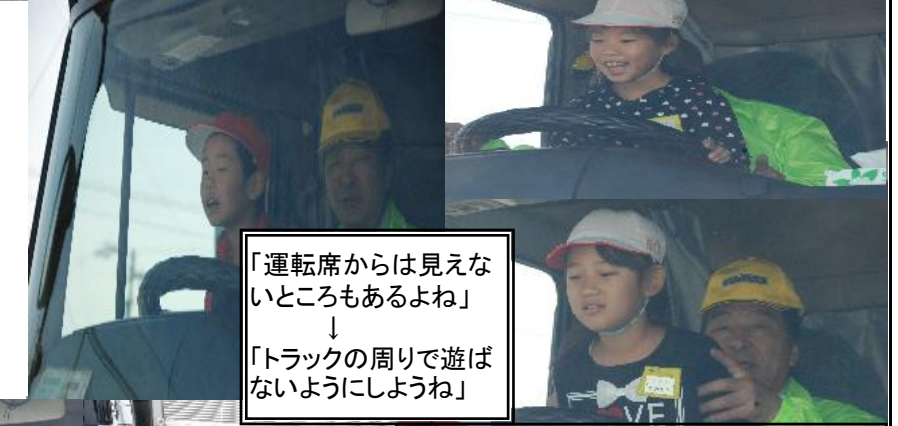


交差点のまわりではトラックは前のタイヤより後ろのタイヤが近くに寄ってくるので「白線よりも3歩さがって待つ」を覚えておきましょう。

④ 死角実験

・死角体験・・・トラックの運転席からは死角がある事を体験。

ねらい: トラックには死角がある事を教え、不必要に近づかない事を意識させる。
内容: 実際に児童全員がトラックの運転席に座り見るところと見えないところを体験。
認知: トラックには近づかない、トラックのまわりで遊ばない事を知ってもらった。



「運転席からは見えないところもあるよね」
↓
「トラックの周りで遊ばないようにしようね」

最後に先生より、労いの言葉と今日勉強した事のおさらいがありました。
1. 道路へは絶対に飛びださない
2. よく確認して横断歩道を渡ること
3. 運転手さんからは見えない所がある。トラックの近くではあそばない。



運転席から見えない所があることがわかりました

3.反省と今後の進め方

- 今回で2回目だが少しあわてて進めすぎた感じがした。
⇒もう少しゆっくりと進め、子供の意見を聞くこと。(次回開催時検討)
- 衝突実験のように迫力が出せないか?(衝突の後だから、地味に感じ、危険と思ってくれているのか?)
⇒次回再検討。